

## 「おおさか河内材」の活用が進んでいます

河内長野市は、都心部に近いにもかかわらず、市域の 7 割が森林で豊かな自然に囲まれています。そこで、市民が「木のある暮らし」に魅力を感じ、木材を身近なものにすることにより、木材需要を増加させ森林整備につなげたいと考えています。

本市では、市内施設において地元材である「おおさか河内材」の活用を進めるほか、平成 28 年度には「木のある暮らしコンテスト」を開催し「おおさか河内材」の木育や生活用品等への活用可能性の創出を図り、今年度は受賞作品の商品化に取り組む予定です。

市の取り組みに林業関係者の機運も上がり、平成 29 年 8 月には製材所や林業関係者で構成される「おおさか河内材販売促進協議会」も結成され、「おおさか河内材」の活用を広めていこうという動きが広がっています。

また、平成 28 年 5 月には東京青山のワタリウム美術館で開催された坂本龍一氏プロデュースの「設置音楽展」会場のベンチにも「おおさか河内材」が使用され、同年 9 月に実際に使用されたベンチが、材料提供者である大阪府森林組合から河内長野市役所に寄贈されました。

この様に、木材のイメージが少ない大阪府から広がりつつある「おおさか河内材」について広く発信して頂きますようお願い申し上げます。



子ども子育て総合センター  
「あいっく」の内装



寄贈されたベンチ

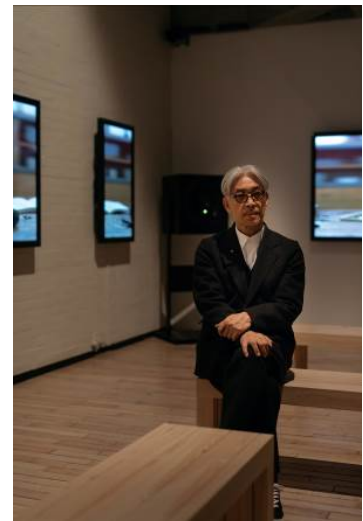


写真:丸尾隆一



木のある暮らしコンテスト  
グランプリ作品

### ●お問い合わせ

河内長野市…環境経済部農林課

(TEL : 0721-53-1111 [nourin@city.kawachinagano.lg.jp](mailto:nourin@city.kawachinagano.lg.jp))

※本資料は、河内記者クラブに配布しております。